

教材名（活動名） おいしいおちゃ（出典「心ゆたかに」） （しずおか おちゃたんけん！）	学 校 名	浜松市立篠原小学校
	学年・人数	1年生 27人（全5クラス）
	教 科 等	道徳
実施時期 平成27年6月上旬	授 業 場 所	教室
	連 携 機 関	なし

ねらい

自分たちが住んでいる地域の特産品、お茶のことを知り、味わうことによって、地域を大切にしていこうとする気持ちを育てていく。

学習（活動）内容 T1 担任 T2 栄養教諭

- お茶やお茶の葉を見て、知っているか発表する。（T1）グループワーク
 - ・おちゃ ・おちゃの葉 ・砂 ・おうちで飲んでいる
 - ・お茶（袋）においがする。 ・葉はにおいがあまりしない。
- 資料「おいしいおちゃ」を読んで話し合う。（T1）
 - ・主人公が、登下校のお茶畑や、お茶摘み、お茶作りの体験によりお茶への興味関心を深めていったことを押さえる。
- お茶について知る（T2）
 - (1) 静岡県のお茶を作っている量
 - (2) お茶のとれる時期
 - (3) お茶を飲むとよいこと
- お茶を入れて飲んでおいしさを味わう。（T2）
 - (1) お茶の淹れ方を簡単に説明し、浜松市産のお茶を急須で入れる。
 - (2) みんなで味わい、感想を話し合う。
 - ・おいしい ・熱い ・心がほっとする ・心があたたかくなる ・にがい ・甘い
- 自分の生活を振り返り、話し合う。（T1）

お茶だけでなく、自分が住んでいるまち（篠原地区）でとれる食べ物を発表する。

 - ・たまねぎがとれるよ。 ・さつまいも ・とうもろこし ・トマト ・じゃがいも
- 教師の説話を聞く。（T1）

お茶や自分の住んでいる地域の食べ物をすることで、お茶や地域に愛着をもつ気持ちを高める。
- ワークシートに感想を記入する。



しずおか おちゃたんけん！

1 おん (?)

がくしゅうを ありがたそう
じぶんが おもった お茶の葉を ながそう。

	がくしゅう	お茶	お茶の葉	お茶を飲む
1	お茶をのんで、よさを感じて、お茶が大好きです。	好き	あつ	好きではない
2	おいしい食べ物があるじぶんの 住んでいるまちが 好きです。	好き	あつ	好きではない



成果

- ・お茶の実物を見せ、味わうことによって、おいしさやよさを伝えることができた。
- ・ワークシートの結果
お茶が好き 88% 自分が住んでいる場所が好き 88%（1年生 131人）

留意点

- ・時間内に終了できるように、ワークシートは簡単に○をつけられる形式にした。
- ・実施後、ワークシートを持ち帰らせ、家庭へお茶の授業をしたことを伝えた。

教材名（活動名） お茶のひみつを 知ろう！ ～きゅうしょくのお茶は どこからくるの～	学 校 名	藤枝市立葉梨小学校
	学年・人数	2年1組 29人
	教 科 等	学級活動
実施時期 平成27年6月上旬	授 業 場 所	教室、給食室
	連 携 機 関	なし

ねらい

給食室でお茶を淹れる様子を見学することを通して、大変な思いをして淹れてくれる人がいるということに気付かせ、感謝して飲もうとする意欲を育てる。

学習（活動）内容 給食にお茶が出るのは静岡県（主に中西部）だけ！ …なぜだろう？
→静岡県はお茶の生産が日本一だから！（茶収穫量全国37% 静岡県公式HPより）

1 給食のお茶はどこからくるの？

茶畑（農家） → 工場 → 店 → 学校（一人で全クラス分淹れてくださる方がいる）

給食室でお茶を淹れている様子を見に行こう！

- (1) たくさんの方が関わっているおかげで飲めることを知る。
- (2) 給食配膳の先生へ感謝の気持ちをもつ。



2 お茶を飲むと、どんないいことがあるの？

カテキン …血液サラサラ、かぜ予防、虫歯予防

カフェイン …気分スッキリ

テアニン …リラックス など（お茶百科HPより）

3 作ってくれている人に感謝して飲もう。

いただきます…生物の命をいただく。食物を粗末にすることは、命を粗末にすること。

ごちそうさま…食材を育てたり、集めたり、料理をしたり、駆け回っていただきあり（ご馳走さま）がとうございました、という意味。感謝の気持ちを込めて。

成果

給食室でたくさんお茶を淹れているところを見てびっくりしたよ。 のこさないで飲みたくなったよ。

暑い中淹れてくれるなんて知らなかった。 これからは感謝を込めて飲みます。

- ・本学級はよくお茶を飲む子が多いが、実際の様子を見ただことで、初めて手元に届くまでの苦労を考えた子もいた。その後の給食時には、大きな声の「ご馳走さま」が響いた。
- ・もったいないアクション活動では、「残さず飲もう。」と声をかけ合う様子が見られた。
- ・お茶の効能を再確認し、子どもたちが進んでうがいをする事へとつながっていった。

留意点

- ・お茶をたくさん残してしまう学級や、苦手な子のいる学級でも実施したい。
- ・給食配膳の先生には忙しい中で協力して頂いたが、実際に見ることの大切さを感じた。